

つるおか芸文だより

第19回鶴岡市芸術祭賞決定

大賞に白甕社 準大賞は鶴岡土曜会混声合唱団

今年度の第19回鶴岡市芸術祭は、創立100周年を迎えた白甕社展を皮切りに、8月下旬から12月上旬までの約3ヶ月間に渡り開催され、期間中47団体による40の公演や展示が行われました。各会場への来場者数も約19,000名に上り、多くの皆様が芸術文化に触れる機会となった芸術祭は、盛況のうち幕をとじることができました。

12月21日には閉幕のつどいを開催、芸術祭賞については次のとおり決定しました。

《評》 創立100周年記念・ 令和6年度白甕社美術展(公募)

レベル、規模共に鶴岡が誇る美術展。創立100周年を記念し、創設期からのゆかりの作家たちの名作が多数展示され、一般や会員の意欲的な作品と並べることで、先達の息吹が現在に生きていることを示してくれた。また、世界的に活躍する絵本作家とのワークショップで制作した子どもたちの作品が会場入口と展示室に飾られ、白甕社の過去・現在・未来を混在させた素晴らしい記念展であった。



白甕社展(荒井良二氏ワークショップ作品)



大賞 白甕社

《評》 鶴岡土曜会混声合唱団 第73回定期演奏会

満席となった会場、団員は高校生から70代と幅広く、数々の大会受賞に輝くその実力を遺憾なく発揮した美しい歌声のハイモニーに観客は陶酔していた。どれも歌い込んだ曲とあって、完成度の高さを感じさせ、特に「歌の花束」は胸を打たれる歌声であった。長い歴史のある合唱団であるが、切磋琢磨し、指導者のレベルの高さを見てとれる公演であった。より深く合唱の本質に迫ろうとする演奏を称賛したい。



準大賞 鶴岡土曜会混声合唱団

芸術祭を盛上げ さらなる精進を



特定非営利活動法人
鶴岡市芸術文化協会

会長 小林健郎

第19回鶴岡市芸術祭は、開幕式典から閉幕のつどいまで、皆様の協力により滞りなく進行し終了する事が出来ました。関係者各位には深甚なる敬意と感謝を表します。

今年の芸術祭はコロナ禍による制限もほぼ無くなり高レベルの公演が展開されました。また、多くの分野で次世代育成にも配慮した発表も行われ、喜びを倍増させてくれました。

大賞の「白甕社」は、庄内画壇の礎を築いた先人と現在の会員、子どもたちとの過去現在未来を混在させた素晴らしい記念展でした。準大賞の「鶴岡土曜会混声合唱団」は数々の大会での受賞に輝いた、その実力通りの歌声のハイモニーは観客を陶酔させていました。優秀賞の「出羽庄内市民ミュージカル若手塾」「庄内水彩画会」「鶴岡吹奏楽団」の皆様には、それぞれ日頃の稽古の成果を披露して頂き、芸術祭を盛上げていただきました。

今般、当会の相談役で前会長の東山昭子氏が、永年の地域文化活動の功勞により、文部科学大臣賞を受賞されました。又、当会が指定管理を行っている庄銀タクト鶴岡が、地域における創造的で文化的な表現活動の環境づくりに特に功績のあった公共施設として、山形県内では初となる地域創造大賞を総務大臣より受賞致しました。この二つの大臣賞は、まさにこの地域の芸術文化活動の素晴らしさが評価されたもので、皆様と喜びたいと思います。芸術文化活動は人の心を豊かにし健康づくりとしても大変有意義と思えます。お互いに精進してまいります。

優秀賞の3団体



ミュージカル「蜂子の皇子物語～神様と友達になった夏休み～」
出羽庄内市民ミュージカル若手塾



第34回 庄内水彩展
庄内水彩画会



鶴岡吹奏楽団 第39回 定期演奏会
鶴岡吹奏楽団

令和6年度の芸術祭を振り返って

今年の芸術祭も、無事閉幕のつどいを迎えることが出来ました。参加された皆様方はじめ選考委員各位のご協力により、円滑に芸術祭賞が決定したことに感謝申し上げます。40公演47団体の公演・作品にふれて、層の厚さを感じ弛まぬ努力があった事に感服いたしました。これまでの伝統を引き継ぎ、新たな活躍をみなぎらせて、今後もなお一層のご活躍を期待します。



後藤 和夫

鶴岡市芸術祭賞選考委員長

次世代育成の取り組みに感謝とさらなる期待



鶴岡市教育委員会教育長 布川 敦

鶴岡の秋を鮮やかに彩る鶴岡市芸術祭が、今年度も盛会のうちに閉幕しました。加盟団体をはじめ、関係各位のご尽力に心より感謝申し上げます。

まだ暑さの残る8月末、開幕式典の会場となったアートフォーラムでは、創立100年を迎えた白甕社展が行われていました。エントランスでは国内外で活躍する本県出身の絵本作家・荒井良二氏と子どもたちがワークシヨップで描いた、大きく伸び伸びとした樹が出迎えてくれ、子どもたちが楽しそうに絵筆を走らせる様子が目に浮かびました。式典では、朝日祥雲御山太鼓の皆様が力強い音を会場いっぱい

響かせ、芸術祭の開幕に花を添えてくれました。コロナ禍を乗り越え、昨年よりも多くの公演が行われましたが、高齢化に伴う会員数の減少など、悩みも多いと伺っております。そのような中、多くの団体が次代を担う子どもたちの育成のために、子どもたちの出演や展示、鑑賞など、芸術文化に触れる様々な機会を創出してくださいました。多くの経験と感動を積み重ねた子どもたちは、将来、鶴岡市の芸術文化を牽引する存在になると信じています。皆様の熱意と弛まぬご努力に改めて敬意を表します。皆様にも、今後多くの方が市民が芸術文化に親しみ、心豊かで活力あるまちづくりに努めてまいりますので、引き続きお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

第19回鶴岡市芸術祭賞選考委員のみなさん

- | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------|-------|-------|--------|-------|--------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|--------|--------|-------|-------|-------|-------|
| 小林 健郎 | 榊原 賢一 | 秋山 芳昭 | 田中 千代子 | 高山 嘉男 | 佐藤 健太郎 | 齋藤 健太郎 | 藤間 静貴 | 柿崎 泰裕 | 阿部 由利 | 村山 智昭 | 岩松 美代 | 難波 正喜 | 五十嵐 悦郎 | 布川 美與子 | 佐竹 美津子 | 佐藤 芳春 | 梅津 芳春 | 小林 和夫 | 後藤 和夫 |
|-------|-------|-------|--------|-------|--------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|--------|--------|-------|-------|-------|-------|



開幕式典

8月31日 アートフォーラム



テープカットで幕開け！



小林会長挨拶

第19回鶴岡市芸術祭開幕式典が、8月31日(土)鶴岡アートフォーラム交流広場を会場に、ご来賓・芸術文化団体関係者など約90名が出席し行われ、ファンファーレが鳴り響くなか、主催者・来



勇ましい「朝日祥雲御山太鼓」の祝奏

賓代表によるテープカットが行われました。また、祝奏として朝日祥雲御山太鼓の皆さんによる、力みなぎる太鼓の演奏が披露され、芸術祭の幕開けを飾りました。

閉幕のつどい

12月21日 東京第一ホテル鶴岡



会場の様子



祝辞 皆川市長

閉幕のつどいは、12月21日(土)東京第一ホテル鶴岡を会場に、皆川治市長はじめ、来賓各位・加盟団体から約140名が出席し開催されました。授賞式では、布川敦教育長より受賞団体へ芸術祭賞が授与され、小林健郎会長が主催者挨拶を述べました。また、大賞の白鷺



受賞者代表挨拶



布川教育長より大賞授与

社の齋藤拓委員長が受賞者代表挨拶を行い、準大賞の鶴岡土曜会混声合唱団による受賞記念の合唱が披露され、会場には、美しく清らかな歌声が響き渡りました。交流パーティーでは和やかに歓談し、会員同士の親睦交流を深めるひと時となりました。



鶴岡土曜会による受賞記念公演



乾杯 尾形市議会議員



懇親会の様子

特別参加公演3団体

*芸術祭大賞を授賞後3年間は「特別参加」となります。



「子どもの世界のみずみずしさを 「詩と音楽と歌声で」 鶴岡放送児童合唱団

● 11月3日
● 中央公民館

公演日は晴天に恵まれ、364名の入場者が27名の団員達にエールを送ってくれた。

第1部から第3部は、小品や日本の著名な作曲家の作品が、小・中学生と卒団した高校生の年齢層を生かした多彩なステージの流れとなった。第4部は、卒団する中学3年生達4名が主役を務め、合唱や舞台パフォーマンス・照明がファンタジックな世界を創り出し見応えのあるステージとなった。(伴 和香子)



第36回公演 「翔くしゅう」心の旅への誘い 山形県大正琴・文化箏愛好会

● 10月20日
● 中央公民館

第36回公演「翔くしゅう」オリジナル曲や耳になじんだ曲が心の旅へと誘ってくれる…その様な公演ができ、多くのお客様に喜んでいただけました。「今年が一番よかったね！」と言いながら年を重ねてきています。ステージ作りを楽しみ、素敵なパフォーマンスができたとと思います。(梅津芳春)



創立100周年記念・令和6年度 白甕社美術展 白甕社

● 8月28日～9月8日
● アートフォーラム



良い舞台は子供達と共に 吉統舞踊学園

● 11月17日
● 荘銀タクト鶴岡

行事の多い中を沢山の方々に来ていただけて、うれしい限りでした。3才の初舞台の子供から大人まで、実に変化にとんで出来上がり、実り多い充実した発表会となりました。今後一層の努力を重ねて、生徒共々、より高みを目指して練習を重ねたいと思っています。今後共よろしくご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。(吉續正義)

白甕社は今年創立100周年を迎えることが出来ました。会の歴史が観賞できますよう過去・現在・未来を混在し展示しました。会員一般167点、特別展示として会に貢献した物故作家たち81点、高校在学中に白甕社賞受賞作品4点、市教委後援の今井・荒井両氏ワークショップ参加子供作品33点、総展示数285点の記念美術展と記念画集を発行するとともに更なる飛躍を祈念し終了しました。(五十嵐千恵子)



歌と踊りのチャリティショー 庄内なつメロ会

● 9月8日
● 中央公民館



初めての市芸術祭参加 鶴岡市管弦楽社会教育連盟

● 9月1日
● 中央公民館

鶴岡ジュニアオーケストラ、鶴岡バイオリンサークルは、この度、初の市芸術祭参加をさせていただきます。今年3月に開かれたソロコンサートで、優秀な演奏をした児童生徒12名に加え、鶴岡ジュニアオーケストラ出身のプロホルン奏者である「深澤光紀」さんのソロ演奏を中心としたプログラムで、大好評をいただきました。(深澤康之)

芸術祭に参加出来た事に、感謝いたします。色々な方々の協力をいただき私共なつメロ会は、9月初旬に発表の場が与えられました。入場者数が心配な所でしたが、幕を開けてビックリ！お客さんも予想より多く又ビックリしました。鶴岡には、まだまだなつメロを愛する人の多さを感じた所です。今後ますます頑張っ て行く所存です。(菅原幸二)



フォトサロン写楽 写真展覧会

● 9月12日～16日
● アートフォーラム

今年の写真展も成功裡に終える事ができました。一年間を通して作りあげた作品に安堵と同時に来年度に向けての意欲を高めています。秋冬春夏と四季が短くも長くも感じながらの一年の始まりでもあります。

写真の内容も写楽としての心の暖かさ、風景の美しさなど御来場者の皆さんに伝える事ができたと思います。

(菅原健一)



あつみ作品展

温海芸術文化協会

● 9月12日～15日
● 温海ふれあいセンター

あつみ作品展は、9月12日より4日間開催されました。例年より、作品種類は少なかつたものの、作り手と土の温かさを感じる陶芸のほか、言葉選びや文字の書き方から、作者の想いを感じる俳句、波や風の音が聞こえてきそうな躍動感と細部にまで技術の光る切り絵が展示され、心豊かになるひとときを共有することができました。

(本間庸枝)



余韻ある幻想的な会場

● 9月15日
● 中央公民館

今回の演奏会は、初舞台2名、初伝・教師免状者の披露、酒田・秋田の近隣支部の交流や地元庄内地方の物語を取り入れたの演奏があり、又演奏曲目毎に物語の筋書を解り易くする為、パソコンプロジェクトによる字幕を大きく映写、観客から好評を得て、幻想的な会場となり、最後まで席を立つ方も殆どなく、嬉しい限りです。

(市川清治)



紙芝居も入った昔話・語り市にどうぞ

● 9月14日
● 第3学区コミュニティ
● 防災センター

「んだば、語てみっがの泉町宿」は秋の気配感ずる日でした。暑い暑い夏をのり越え懐かしいあの頃に帰り、お客様に楽しんでもらえました。今回は封書にてご案内もさせて頂きありがとうございました。とてもうれしかったと封書にぎり持って来てくれたり、ホロリと涙が出そうになったとの感想もあり又聞かせての声もあり会員も有難く満足終了の公演となりました。

(帯刀春男)



第百五十回記念大会への軌跡

● 9月22日
● 東京第一ホテル鶴岡

発表会を重ねて第150回記念大会は皆様に支えられ、老若男女和氣藹々楽しく朗らかに開始した。特にプログラムの構成は見易くわかり易く親しみ易くを主眼とした。朝陽清吟会の辿った歴史を平成前期中期後期に分類し好きな詩歌に挑戦し御製和歌、短歌、俳句、新体詩等を発表。それぞれの練習の成果が現れ和やかで多彩な発表でした。更に幼児保育園の剣舞は来場者に好評を得ました。(百瀬皓州)



第58回さざ波会

● 9月22日
● 中央公民館

悪天候の中、来場して下さった皆様に感謝申し上げます。今回は初心者会員4名を加えての発表会だったので、不安と期待の公演であったが初心者会員もよく頑張った。来年も9月20日に決まっているので、新会員の技量をもう少し磨いて御来場の皆様を喜ばせたい。先人から受け継いだ民謡を鶴岡から無くしたくない。私達には後世に伝承の使命もある。

(佐藤 睦)

**西行の山家集と
西行花伝から扇面作品を！**

一東書道会鶴岡支部 畹雅会

● 9月27日～29日
● アートフォーラム



毎年出品している私のふれあい展に出品する作品を、西行の歌から選んで二尺六寸の横書の作品を昨年から製作していたので、42周年の仮名書作展は、西行花伝と山家集からの作品から思っていた所、突然に主人に亡くなられて、芸術祭の参加作品は偶然にも西行の弔いの歌の扇面の作品にしました。元協力者への作品群でした！

(阿部畹雅)

「綺麗さび」の遠州流茶会

遠州流茶道山形支部

● 9月29日
● アートフォーラム



爽やかな秋晴れの良い茶会日和となりました。一階席は格調高い立礼卓での点法、二階席は畳での点法座とし趣の異なる二階で遠州流茶道の「綺麗さび」を表現いたしました。大勢のお客様と楽しいひとときをご一緒出来ました事、本当に幸せに感じました。これからも遠州流茶道の魅力とお茶の楽しさを伝えて行きたいと思っております。

(堀宗敬)

希望の光に思いを馳せ

ステンドグラス・光彩

● 10月5日～6日
● アートフォーラム



第2回ステンドグラス・光彩作品展は出品者28名、作品数168点、2日間の開催で868人のご来場を頂きました。今回初めての試みで星のパネル制作体験を実施し会期中展示して頂きました。ご来場頂いた方々から美しい作品に感動したと言う声が多く寄せられ、会員一同作品作りの励みとなる展示会となりました。

(東海林宏子)

第62回鶴岡市合同短歌会

鶴岡市合同短歌会

● 10月9日
● 市立図書館



第62回合同短歌会が開催され41首の応募、当日35名出席、41首の歌評を二氏よりいただきました。歌会は和気藹々のなか終了。その後、東山昭子氏の講話、短歌との出会い——人生を豊かに生きる、資料により詳しく学ぶ事が出来大変好評でした。懐かしい短歌人に会えた様な喜びを感じとても嬉しく充実した合同短歌会となりました。

(稲京短歌会 佐々木秀子)

5年ぶりのタクト公演

出羽庄内市民ミュージカル若手塾

● 10月13日
● 荘銀タクト鶴岡



県の博物館文化財活用課との「有形・無形の文化財情報を若者世代に伝える」目的の協働助成事業で、若い世代の出演参加が課題だった。コロナ禍の余波が残る中、出演参加者募集に苦労した。が、「こども文化クラブ」や、関係者の力で、ミュージカルらしい公演が出来た。関係者と観客の皆様深く感謝。

(大井卓磨)

第4回佳興の会公演

邦楽ライブ Vol.18

● 10月13日
● 佳興堂



会を重ねる毎に演奏を楽しみに来て下さる方が沢山おられることは有難いことです。琵琶と長唄三味線に加えて、今回は秋の叙情溢れる心に染入るクラリネット演奏が好評でした。メンバーのひとり欠席となり、全員揃って継続していく難しさも感じますがそれぞれの精進の糧として、今後もライブの開催を行ってまいります。

(岡政雄)



毎回展示会場として使用している中央公民館大視聴覚室のすばらしい環境で、各自がかわいがっている盆栽がスポットライトを浴び輝き、晴れ舞台を表現することができました。展示する側にとってこの上なく楽しい展示会でした。

(上林節男)

持ち込み樹で情景描写

鶴岡小品盆栽会

●10月17日～19日
●中央公民館



今回の演奏会はタンゴ音楽をメインに【情熱と哀愁】というテーマのもと、国内外のバラエティーに富んだ楽曲を演奏。沢山のお客様からご来場いただきました。客演奏者の齋藤耕基さん(チューバ)、小野寺高征さん(トランペット)の素晴らしい演奏の相乗効果で、盛況のうちに終了することができ、演奏者として至上の喜びでした。

(伊藤聡)

たくさんのお客様の前で

荘内金管合奏団

●10月13日
●アートフォーラム



表千家流茶会にお越し頂きありがとうございます。史跡致道館の歴史と風情のある会場でお茶を頂ける嬉しさと共に和服姿での茶道人口の多さに驚きました。との感想がありました。戦争、自然災害がある中で雲開千里月の掛け物のようにとの願いがあります。棗の作家が能登半島出身で義援金をお願いし、たくさんの方から賛同を頂きありがとうございます。表千家流茶会開催にあたりご尽力頂きましたすべての方々に感謝申し上げます。

(日向宗節)

表千家流茶会

(雲開千里月のように)

表千家同門会 山形県支部庄内地区

●10月20日
●致道館



第61回各流派合同いけばな展は2日間の開催で1918人の来場を頂きました。今年度2階は1/2スペースの展示となりましたが、各流派工夫を凝らし、個性のある作品143点が出版となりました。お天気に恵まれませんでしたが、花展を楽しみにしていた方々が熱心にお花を見ている姿が印象的でうれしく思いました。

(古流松應会 古本理暁)

第61回各流派合同いけばな展

鶴岡市いけばな6流派

●10月19日～20日
●アートフォーラム



平成6年、書道愛好家が集って、鶴岡市の中央公民館で書作品の展示をしたのが、第1回目の飛雲会展でした。以来年一度の開催で暗中模索しながら今年が30回目の節目を迎える事が出来ました。当初のメンバーは一人しか居りません。98才となられた現在も精力的に書芸術の真髄を究めんとする至誠に頭が下がります。

(渡部飛雲)

第30回飛雲会展を終えて

書道研究 飛雲会

●10月24日～27日
●アートフォーラム



昨年は、市芸術文化協会より賞を受賞し、今年た作品が揃い展示する事が出来ました。今回も、四季に渡る大自然の風景を各自独自の視点で撮った作品52点は、観覧者の皆さんに熟意と感動を伝える写真展となりました。大好評を賜り盛況に終了しました。来年度は30年と節目の年に当たり、会員各自が一層研鑽に励み節目の年に相応しい感動が伝わる作品造りに専念したと思います。会員が独自のテーマに挑戦し独創的、個性豊かな作品を展示して、観覧者の皆さんに情熱と感動が伝えられる発表会をめざして精進します。

(佐藤時彦)

第29回庄内写真研究会写真展

庄内写真研究会

●10月23日～27日
●アートフォーラム

如月会水墨画展

如月会

● 10月24日～27日
● 中央公民館



出品点数は(過去最高)合計59点でした。屏風、掛け軸4～50号、色紙等。ジャンルは山水、風景が多く、次に花、静物、人物でした。

今回は、画集作成のため(ライト反射を無くすため)すべての額のガラスをはずしました。

(梅本幸仙)

朝日俳句・川柳合同展

朝日俳句の会

● 10月25日～11月4日
● 朝日中央コミュニティセンター

今年度も、あさひ産業文化まつりの開催期間に合わせて、朝日俳句・川柳合同展を開催しました。

俳句部門では、今回も小中学生から多くの出品があり、合同展の出品点数が214点あり大変見ごたえのある展示となりました。

俳句などを通して、学ぶことの楽しさを追い求めていきたいものです。

(佐藤照子)



秋の茶会・和敬清寂

裏千家淡交会庄内支部鶴岡地区

● 10月27日
● 庄内神社参集殿



永い歴史を刻んだ庄内神社で過ぎゆく秋の風情を感じつつ、茶と菓子で心豊かになって頂けたと自負しております。

和敬清寂の言葉どおりの空気が流れていた茶会でした。また、思いがけず近頃にはない多くのお客様がおこし下さいました。一同、嬉しさでいっぱいでございます。感謝申し上げます。

(富樫宗寛)

みんなで一緒に楽しもう

日本九重流鶴城清吟会

● 10月27日
● 中央公民館

今年の公演は、私共も楽しく、また来場いただいた皆さんも楽しい大会を目指し、詩吟は少し堅苦しいと言うイメージを取り気楽に楽しい会にしたいと取り組みました。

3時間半と長い公演となり反省点も多くありましたが、出演した私達は緊張しながらも充実した大会となりました。

令和8年の鶴城清吟会50周年に向け、なお一層研鑽を重ねて行きたいと思っています。

(佐藤荘州)



宝生流歡世流合同謡曲大会

宝生流鶴岡五雲会・庄内謡曲愛好会

● 10月27日
● 黒川能伝習館



昨年と同様に、黒川能伝習館にて3団体で行われました。鶴岡五雲会は連吟「源氏供養」と仕舞4番。庄内謡曲愛好会は連調「天鼓キリ」舞囃子「紅葉狩」。観世流羽黒水曜会は素謡「女郎花」と季節、時節に合った番組になりました。

例年になく、多くのお客様にも楽しんでいただけ、これからも一人でも仲間が増える様、地道に活動していきます。

(庄内謡曲愛好会 西澤雪子)

第34回庄内水彩画展

庄内水彩画会

● 10月29日～11月4日
● アートフォーラム

水彩画の魅力と楽しさを、多くの方々に伝えることが出来たらうれしいです。大きな作品と小さな作品がありますが、次年度は、大きな作品を多く見て頂けるように、会員一同頑張っていきたいと思っております。

(鈴木幸治)





第15回
写団はぐるる会員写真展
写団はぐるる

● 11月7日～10日
● アートフォーラム

今年の会員写真展は「四季への誘い」、「秋田内陸縦貫鉄道を往く」、「船について考えた」、「山岳」各自のテーマごとに撮影したパラエティーな作品36点を展示した、

(菅原功)



第76回 荘内書道展覧会
鶴岡書道会

● 11月1日～3日
● アートフォーラム

鶴岡・田川地区よりの保・幼・小・中・高からの応募作品が昨年より多く、約880点の展示となりました。

学年ごと、学校ごと、高さなど、見やすい展示を心掛けました。

多くの出品数を見込みたので、要項など配布時期を早めにしたと思います。

(山本良伸)



龍伝・小太郎
希望や夢を諦めず
表現舎刻一刻

● 11月9日～10日
● 中央公民館

主人公の小太郎は、不運の子として生まれても、自分の人生を受けとめる。常に自然界に襲われる運命にあっても、希望や夢を諦めず生きぬく姿を、多様な場面で描く。舞台装置、照明を工夫し、民話の面白さを言葉、小道具等で盛り上げた。人間の哀惜を雪や囲炉裏、場面の心情を多様な効果音で生かすことが出来ました。

(佐藤正一)



秋季さつき盆栽展
鶴岡さつき盆栽研究会

● 11月8日～10日
● 中央公民館

確実に気温上昇による、植物、特に花ものへの影響があり次の年に咲く花芽が付きにくい。今年の花を見ずに早めに切って、ようやく次の年の花芽が付く状況である。秋の展示会に出品した鉢にもあった。やはり花は一年おきと考えると気はおさまる。来春の花はどうであろうか。

(岡部誠)



雨のちくもり、時々晴れ
劇団だいこん座

● 11月23日
● 中央公民館

3年ぶりの公演で、しかもテーマが「認知症」という事で、興味のある方がどれ程いるか戦々恐々としていたのですが、思わぬ大きな反響に、ありがたいです。

今回は他劇団や、他分野の方々にも御協力いただき、横にもつながりが増え、充実した舞台にする事ができました。待ってくださる方に良い舞台を届けられるよう来年もがんばります。

(ヤマトひでき)



第22回 バウムクーヘンオータムコンサート2024
バウムクーヘン

● 11月23日
● 荘銀タクト鶴岡

今年のコンサートは幼児から大学生まで83組が出演しました。

これまで積み重ねてきた練習の成果を充分に発揮し、今ここでしか奏でられない「時間芸術」を演奏することができました。

演奏者の励みや飛躍の場となり、その成長をお客様にも届けられるように、また指導者の更なる向上を目標に活動していきます。

(阿蘇路)

観客席とステージが共感しあい
● 11月24日
● 中央公民館
剣聖流剣詩舞鶴岡剣聖会



大勢の市民の皆様のご来場をいただき「これぞ剣聖流の舞」を主題に20の舞を選び2時間間のステージを一緒に創ることができました。詩舞の華やかさと剣舞の勇壮さを織り交ぜ、解説時には映像120コマで舞を引きたてて祝舞4題、一般剣詩舞10題、構成舞「戦国絵巻・川中島の戦い」は上杉謙信と武田信玄の戦国の世の勇姿を綴りました。
(小竹郁弥)

鶴岡吹奏楽団
第39回定期演奏会



今回はゲストに国際音楽コンクールで優勝経験をもつ、世界的に有名なトランペット奏者のアンドレ・アンリ氏をお迎えし、非常に豪華で華やかなステージとなった。馴染みのある映画音楽で構成し、現音楽監督の小塚類氏の指揮によるゲストソロで披露した。出演者聴衆ともに、満足度の高い演奏会を行うことができた。
(大場輝和)

思いを込めた歌の花束
● 11月30日
● 荘銀タクト鶴岡
鶴岡土曜会混声合唱団



アカペラ合唱曲、全日本合唱コンクール全国大会演奏曲に続いて、鶴岡市合唱連盟が信長貴富氏に委嘱した合唱曲集「祝福あれ」を演奏しました。さらに東日本合唱祭で演奏した曲と愛唱歌を集めて「歌の花束」という構成ステージを作りました。満員のお客さまの温かな雰囲気にも励まされて、測上千里氏のピアノと共に、思いがあふれる演奏になったと思います。
(佐藤大吾)

第24回定期演奏会
● 12月1日
● 荘銀タクト鶴岡
スینگ・クレインズジャズ・オーケストラ



例年、演奏会には多くの皆さまに足をお運び頂き、メンバー一同感謝の気持ちでいっぱいです。定期演奏会も回を重ねること24回。ジャズに馴染みのなかった方々にも「楽しかった。又来年も来るよ」と言われる事は、演奏者冥利です。プロのゲストの力は借りますが、良い演奏は観客も、我々演奏者も至福の時間です。
(橋本祥造)

素敵な賞状を
ありがとうございます!!

毎年、鶴岡市芸術祭賞を受賞された団体の皆さまには賞状が授与されております。鶴岡市芸術祭賞の賞状は、絵入りのオリジナルとなっております。その年々の受賞団体をイメージした素敵な絵が描かれています。これまで、賞状を白鷺社の佐藤定雄さんに作成（絵、文字共に）いただいておりますが、第19回の賞状作成が最後となりました。
『佐藤定雄さん、30有余年の長きに渡り、沢山の団体の皆さまに、心のこもった世界に1枚の素敵な賞状をお届けいただきありがとうございました。』



～第19回鶴岡市芸術祭賞 受賞5団体の賞状～



また、例年開催していた文化講演会の代替事業として、第105回明治ホールコンサートを東田川文化記念館で開催。日本屈指のポルトガルギター奏者・マンドリン奏者による珠玉の南蛮音楽に、観客は魅了されていました。

第35回ふじしま音楽祭には、新たに1団体が初出演。子どもから大人まで幅広い世代の出演者と観客が一体となり、あたたかなハーモニーを奏しました。

期間中は5地区の芸術祭、各小中学校及び庄内農業高校の文化祭も開催され、藤島の芸術の秋を盛り上げました。

(ふじしま文化フェスティバル委員会)

第52回藤島芸術文化祭では、作品展示、民話の語り、合同茶会、囲碁大会、藤島芸術文化協会発表会が行われました。発表会では、芸文協会員によるステージのほか、特別ゲストとして、酒田フィルハーモニー管弦楽団のメンバー4名が出演。観客からは惜しみない拍手が送られました。



多彩な芸術文化を満喫！藤島の秋

ふじしま文化フェスティバル2024

作品展示・発表会・音楽祭・明治ホールコンサート

●10月11日～11月23日

●藤島地区地域活動センターほか



出演団体も増え、18団体123名が出演し、多数の観客が来場しました。

新しい分野の発表と日頃の練習の成果を發揮した発表に、会場も盛り上がりました。

(羽黒芸術文化祭実行委員会)

『羽黒芸術文化祭』が11月2日から11月4日の日程で開催され、作品展示、芸能発表、囲碁・将棋・俳句大会が行われました。

作品展示は羽黒体育館アリーナを会場に、書道・絵画・写真・手芸を始めとする849点の多彩な作品が展示されました。大人だけでなく保育園児や小中学生の作品も展示しました。訪れた人は足を止めてじっくりと鑑賞しており、親子連れも会場に足を運んでいました。

3日の芸能発表会は羽黒コミュニティセンターで開催しました。



新たな魅力発見！羽黒芸術文化祭

令和6年度羽黒芸術文化祭

作品展示・芸能発表・囲碁・将棋・俳句大会

●11月2日～4日

●羽黒体育館・羽黒コミュニティセンターほか



文化祭の最後を飾るまなびいステージは11月10日(日)に開催され、特別出演の土曜会混声合唱団も含めて10団体約150人が出演し、熱気あるステージを披露して訪れた観客を魅了した。

(くしびき文化祭実行委員会)

56回目を迎えたくしびき文化祭は、10月5日(土)の文化財めぐりを皮切りに、展示部門、まなびいステージと予定通りに実施された。文化財めぐりは、総勢19名で寒河江市を訪れ、名刹慈恩寺や古澤酒造店などを見て回り見聞を広げた。

11月1日(金)～4日(月)祝まで4日間に開催された展示部門では、改修工事が終了したホール等を会場に、櫛引地域の小学校・中学校・保育園の児童生徒の絵画や習字の展示をはじめ、福祉団体・施設の作品、地域で活動する愛好家の書やちぎり絵、生け花、手芸・工芸・写真等多様な作品が一堂に会し、見ごたえのあるものとなった。今年も、櫛引の偉人の展示や映像の上映も併せて行われた。



櫛引、芸術の秋

第56回くしびき文化祭

文化財めぐり・展示部門・まなびいステージ

●10月5日～11月10日

●櫛引生涯学習センターほか



あさひ産業文化まつりが10月25日から11月4日までの日程で開催され、作品展示、芸能発表、おまつり広場での出店なつりが行われました。作品展示部門では、書道や絵画、写真、俳句、川柳、生け花、手芸創作品など、地域の皆さんの個性豊かな力作73点が展示され、大勢の方々が鑑賞しました。

また、メイン日である11月3日は、芸能発表部門として8団体10演目が披露されました。各団体とも日頃の練習の成果を存分に発揮し、力のこもった発表に会場は大いに盛り上がり惜しみない拍手が送られました。

当日はこのほかにも、おまつり広場として地域の商工業者、産直、ボランティア団体などによる出店もありました。朝日地域の芸術文化活動の成果や地元産業を広くPRするとともに、実りの秋を多くの皆さんが満喫する一日となりました。

(あさひ産業文化まつり)

実行委員会



芸術文化の秋を満喫

令和6年度あさひ産業文化まつり

作品展示・芸能発表・おまつり広場

●10月25日～11月4日

●朝日中央コミュニティセンターほか

技の光る作品と世代を超えた交流

第41回 温海文化祭

作品展示・ステージ発表・お茶会

●10月19日～11月3日

●温海ふれあいセンター

今回で第41回となった温海文化祭は、11月3日に温海ふれあいセンターにて開催されました。ステージ部門では、あつみ保育園の園児による元気いっぱい発表のほか、合唱、楽器演奏、空手の形、詩吟、ダンスなど幅広い分野の演目があり、レベルの高い発表に、会場は大きな拍手で包まれました。

展示部門では、俳句、絵画、生け花、切り絵、本物そっくりな手芸や工作など、保育園児から高齢の方まで技の光る作品が並び、昨年度から復活したお茶会も心落ち着く空間として提供することができました。

さらに今回は、温海地域の中学生を対象に実施したボランティア養成講座に参加中学生によるバルーンアートによるバルーンアートのブースを設置し、来場者にバルーンアートを差し上げたり、一緒に作ったりして世代を超えた交流も生まれました。



(温海文化祭実行委員会)



エスモール展示スペースのお知らせ

皆さま、エスモール内に芸術文化団体等向けの作品展示スペースがあることをご存じでしょうか。今回ご紹介する展示スペースは、生け花や盆栽、絵画や写真など、行き交う人たちに見て楽しめる作品を気軽に鑑賞いただける場となっています。この展示スペースは、エスモール1階の「ヒカリの広場」奥に位置し、専用の什器やパーテーションが備えられ、常時作品が展示可能となっています。

当会ホームページでも紹介していますので、ご興味を持たれた団体の方は、お気軽にご連絡ください。たくさんのご利用をお待ちしております。



令和7年度 第20回鶴岡市芸術祭「開幕行事」の開催について

市町村合併により現在の鶴岡市が発足し、回を重ねて開催されてきた鶴岡市芸術祭が、令和7年度は「20回」の節目を迎えます。また、当会法人設立10周年となり、その節目を記念し、来年度の鶴岡市芸術祭開幕行事は、荘銀タクト鶴岡を会場に開催いたします。式典挙行に併せ、ゲストをお招きしての講演・加盟団体によるステージ公演、また、タクトエントランスへの作品展示等の内容で予定しております。多くの皆さまと共に、芸術祭開幕の喜びを分かち合える機会になる事を楽しみにしております！！

今後、当会HPでもご案内いたしますので、ぜひご覧ください。

東山昭子氏 地域文化功労者表彰祝賀会



鶴岡市芸術文化協会相談役（前会長）の東山昭子氏が多年にわたり芸術文化の向上にご尽力され、地域文化の振興に顕著なご功績が認められて、令和6年度地域文化功労者表彰（文部科学大臣賞）を受賞されました。

2月24日東京第一ホテル鶴岡で受賞を祝う会が開かれ、関係者約180名が出席し、芸文協会員による日本の伝統文化の華道、書道、茶道と吟詠の三道吟のアトラクションで開幕、東山前会長のご功績を讃え、受賞の喜びを皆で分かち合いました。

地域に愛される文化拠点を目指して

荘銀タクト鶴岡は今年で開館から八年目を迎えます。市の直営期間を経て、鶴岡市開発公社と鶴岡市芸術文化協会が指定管理者として文化会館の管理、運営・事業企画業務を担い始めて五年が経ちました。「地域と共にある場とは何か」を自分たちに日々問いながら、これまでたくさんの方々からの温かい励ましに支えていただき、懸命に前へと歩んでまいりました。

そんな中、昨年12月、地方団体の地域づくりを支援する一般財団法人地域創造より「地域創造大賞（総務大臣賞）」に選出されたとの知らせがありました。この賞は、地域の創造的で文化的な表現活動のための環境づくりに特に功績のあった公立文化施設を顕彰するもので、今回受賞した施設は当館のほか、富山県美術館・黒部市美術館・岐阜県民ふれあい会館サラマンカホール・神戸文化ホール の計5施設です。当館の受賞理由としては、本格的な鑑賞事業、商店街や他施設と連携した映画祭の他、多様なアウトリーチ、支援の必要な方への鑑賞支援事業の取り組みなど、文化による新たな交流を創出した点が評価されました。

今、劇場・音楽堂に求められていること、担うべき役目は時代とともにどんどん多様化しています。文化芸術の継承、創造、発信など、本当に多岐にわたります。これらをおの小さな地域の一文化施設に託されているという重責を感じつつ、日々スタッフ全員で丁寧な館運営に努めています。

令和6年度の自主事業では、多様なジャンルの文化・芸術を提供できるようにと様々な催しを実施しました。「鼓童ワン・アース・ツアール2024」ではアートフォーラムで開催された特別展「和食〜日本の自然、人々の知恵〜」とのコラボレーション企画として鶴岡の食文化の体験・発信事業を実施。ダンス公演では市民参加型の



2025.1.17 地域創造大賞授賞式



2024.8. 4タクトのちいさな映画祭 (夏と夜とJAZZと)

公演を実施しました。また、音楽、ダンス、演劇といった幅広いジャンルでアウトリーチを行い、障害のある子どもたちや、普段ホールに足を運びにくい方々へ向け芸術を届けることができました。さらに、令和5年度から取り組み始めた障害者支援事業として鑑賞サポート公演も継続して実施しました。一年目は専門家にサポートに入ってもらいましたが、二年目は地元の福祉団体と連携体制で実施することが叶いました。また、地元の高校生自らが自分たちも障害のある方に音楽を届けたいと、当館ができるサポートを施しながら生徒たちの力でコンサートの実現を果たしました。少しずつですが、地域の方々との連携体制を育んでいる最中です。

改めて、今回の受賞は、これまで行ってきた館の方向性は間違っていないかという自信にも繋がったように思います。今後もみなさまのお力をお借りしながら地域に愛される文化拠点となるよう、精進してまいります。引き続きご指導、ご鞭撻のほどよろしく願いいたします。

タクトつるおか共同企業体 係長 伊藤玲子

次世代の育成支援 令和6年度 こども文化クラブ事業報告

令和6年度 こども文化クラブ事業 実施状況

会場	回数	人数	分野
中央公民館	4	33	ステンドG・華道
上郷地区放課後子ども教室	9	110	ステンドG・文化箏・尺八・茶道
豊浦地区(三瀬)放課後子ども教室	7	78	ステンドG・文化箏・茶道・華道
豊浦地区(由良)放課後子ども教室	10	100	ちぎり絵・文化箏・ミュージカル・フラダンス・茶道
湯野浜小学校放課後子ども教室	8	173	短歌・造形・ちぎり絵・ステンドG・茶道・華道
おおやま放課後子ども教室	5	94	短歌・茶道・華道
西郷地区放課後子ども教室	4	126	絵画・ステンドG・茶道
ねすがせき放課後子ども教室	7	92	ちぎり絵・合唱・茶道・華道
合計	54	806	12分野

次世代を担う子どもたちの育成支援の取組みとして、今年度も市の助成を受けて「こども文化クラブ事業」を実施しました。芸文協加盟団体の協力により講師を派遣し、中央公民館や各地域放課後子ども教室と連携しながら、様々な芸術文化体験の機会を提供することが出来ました。地域の文化祭等で作品を展示したり、舞台上に上がったりし、多くの方から見てもらい、がんばりを認めてもらうことで子どもたちの大きな自信へとつながっています。

～ フラダンス ～

フラダンスはとても楽しい活動です。とても大すきです。みんなとおどることもとてもすきです。おどるときにみんなにあわせるのがむずかしいけれど歌もとてもすてきでいい歌だと思います。

● 豊浦地区(由良)放課後子ども教室
豊浦小学校3年 佐藤 恵麻



～ 茶道 ～

お茶をまぜる時はただまぜるのではなく、手首をつかってあわがぜんたいにひろがるまでお茶をたてました。きれいなあわがひろがって自分では上手にできたと思っただけで、お茶はにがかったです。

● 豊浦地区(三瀬)放課後子ども教室
豊浦小学校2年 白幡 楓人



～ 尺八 ～

しゃくはちをやってみて、音を出すのがむずかしかったです。だけど「ふくところ」に口を近づけるといいよとおしえてもらってふいたらふけました。しゃくはちがおもしろくて、二年になったらやりたいです。

● 上郷地区放課後子ども教室
上郷小学校1年 さいとこうのすけ



～ 絵画 ～

一番おもしろかったのは、シールの上から絵の具をぬったことです。シールをはがしたあとに、さいしよにぬったクレヨンが見えて、ぐるぐるのようがきれいにできたのでよかったです。またやりま

● 西郷地区放課後子ども教室
西郷小学校3年 阿部 ひかり



～ 華道 ～

12月にいけばなをしました。花はスプレーカーネーション、コチア、シノブヒバの三種類で、緑と赤のクリスマスカラーできれいでした。玄関にかざり、家の人からほめられて何日も楽しむことができました。

● おおやま放課後子ども教室
大山小学校2年 田澤 想太郎



～ 和紙ちぎり絵 ～

2回目のちぎり絵だったけど、きんぎよはむずかしかったです。とくに、しつぽやひれのところがむずかしかったです。またちぎり絵があったときは、みかんのちぎり絵がいいです。またやりたいです。

● 湯野浜小学校放課後子ども教室
湯野浜小学校3年 五十嵐 陽永



～ 芸能のつどい ～

習った曲の中で一番好きな曲は「海」です。理由は、わたしが夏生まれで海が大好きだからです。海を想像しながらひくと、気分がよくなっていていやなことわすれられます。

● 上郷地区放課後子ども教室
石塚 想乃



～ 合唱 ～

みんなと一緒に色々な歌を歌いました。特に、トトロの散歩やドレミの歌を体を動かして歌ったことや、私の好きな「語り合おう」を歌ったことが楽しかったです。みんなで息を合わせて歌うことが難しかったです。

● ねすがせき放課後子ども教室
鼠ヶ関小学校5年 長畑 志子



編集後記

第19回鶴岡市芸術祭での、多くの感動とワクワク感が詰まった広報をお届けできました。原稿をお寄せいただいた皆様様に深く感謝申し上げます。今年度は本会にとり嬉しいことが二つもありました。東山前会長の受賞とタクトが受賞できたことです。おめでとうございます。第20回の節目となる来年には更なる希望と感動を期待していききたいと思います。

(高山千代子)